

福島町生まれの十二支、完成！

鳴海 健児さんによる十二支の作品贈呈



タウン情報

2月19日（火）、町内字日向在住の鳴海 健児さんより、福島小学校の児童へ亥（いのしし）の作品が寄贈されました。

鳴海さんは平成20年より「児童の皆さんが元気で明るく登校し、地域の人と向き合ってほしい」という思いから、その年のできごとを織り交ぜながら、昆布やすめ、黒米等の特産品を使った十二支の作品を毎年作成・寄贈していました。十二支全ての作品が完成となったことから、今回は最後の作品制作となりました。

寄贈後には感謝状の贈呈式が行われ、鳴海さんへ感謝状とお礼の言葉が贈られました。体育館には十二支全ての作品が展示され、子どもたちは「すごい！」「見ていだけでも楽しい」「来年から新しい作品が見られなくなるのが寂しい」と、贈呈式後も名残惜しそうに作品を鑑賞していました。



▲鳴海さんと子どもたち

犯罪や非行から地域住民を守る

松前地区更生保護サポートセンター開所式

2月21日（木）、福祉センターにおいて、松前地区更生保護サポートセンター開所式が開催されました。同センターは福祉センター内にあり、渡島西部四町の更生保護活動の拠点となります。企画調整保護司が駐在し、地域住民からの犯罪・非行に関する相談や保護司の活動支援を行っています。

■開設時間

午前10時から午後4時まで（12月から3月は午後3時まで）
平日（火曜日を除く）

■お問い合わせ先

松前地区更生保護サポートセンター ☎46-7651



▲開所式で挨拶する松前地区保護司会の木村請韶会長

子どもたちが地元食材の味を堪能

陸上養殖アワビを給食で初披露！

平成28年度より町が取り組みを進めている「アワビ陸上養殖事業」ですが、今回出荷予定サイズに成長したことから、学校給食などで、町内の子供達に試食をしてもらいました。

小・中学校では「養殖アワビ」と黒米のコラボ企画『福島カレー』を、保育所では『アワビバター焼き』をそれぞれ給食で、幼稚園では、『アワビカレー』をお別れ会のごちそうにて試食してもらいました。

この日を楽しみにしていたという声も聞いており、子ども達からは、「コリコリしておいしい！」「やわらかくて食べやすい！」と、笑顔いっぱいでお食事をしてくれました。

当町の養殖アワビは、天然アワビに比べ、小ぶりのサイズですが、適度な歯ごたえはありつつもやわらかい食感と磯の香りが控えめなことで、小さな子どもでも抵抗なく食べることができます。

今後は、多くのアワビを出荷できるよう養殖を進めるとともに、新たな特産品として町内外に向け、PRを進めていきたいと考えております。

